

第9回北海道食育推進優良活動表彰の概要

北海道農政部食の安全推進局食品政策課

1 北海道食育推進優良活動表彰について

道内の食育推進活動を促進するとともに、道民の食育に対する関心を高めるため、食育の活動を積極的に行い道内における食育の推進に貢献している個人または団体に対する表彰制度を平成26年度に創設。今回で9回目の実施。

2 候補者の募集

令和4年7月21日（木）から9月20日（火）まで、約2ヶ月にわたり募集。

3 選考懇談会の開催

食育に関係する有識者4名で構成される選考懇談会を11月4日（金）に開催し、4件の受賞候補者を選考。

4 受賞者（五十音順・敬称略）

選考懇談会の選考を踏まえ、次のとおり受賞者を決定。

受賞者名	取組概要／主に評価された点
網走市食生活改善協議会 （網走市）	親子チャレンジクッキング」「鮭丸ごと料理教室」など全ての世代を対象に、食を通じた健康づくりと地産地消、郷土料理継承など地域と協働する食育に取組。
	地域住民の食の自立、食を選ぶ力を身に付けることを目標とし、コロナ禍でも活動を継続し、木育×食育アウトドアキッチンなど多方面で活動を評価。
札幌市食生活改善推進員協議会 （札幌市）	「～私たちの健康は私たちの手で～札幌市に食育の輪を広げよう」をテーマに、生涯を通じた心身の健康を支える食育を推進する活動を実施。
	大都市でありながら、関係団体への協力、コロナ禍でも調理飲食以外の活動やメディア活用など、きめ細やかな活動を48年も継続していることを評価。
新篠津村食生活改善協議会 （新篠津村）	設立以来、行政と連携を図りながら幅広い年代に向けた食育活動を展開。小さな村であるが、会員数57名の組織力ある団体。
	小さな村でありながら、学校、社会福祉協議会、保育所と連携し幅広い年代に対し長年活動し、地域からの信頼が厚いことを評価。
認定栄養ケア・ステーション つがやす （帯広市）	「いつまでもおいしく食べる」をささえる地域の健康づくりの拠点として活動
	歯科医と栄養士による健康づくりの地域拠点として、地域交流活動、介護食をカフェで提供するなど健全な食生活を推進していることを評価。

5 表彰式

令和4年12月19日（月）13:30～15:30に賞状の贈呈や受賞者の事例発表のほか、講演会を実施。